



会長 岡島達雄
副会長 中武泰一郎
幹事 武末喜久治
例会日 毎週木曜日 12:30～
例会場 ホテル泉屋 2F
事務所 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋1368-4
 ホテル泉屋内 TEL/FAX 0983-21-1636

第1676回 平成23年1月6日プログラム

- | | |
|--------------------------|------------|
| 1. 点 鐘 | 7. BOX 披露 |
| 2. ロータリーソング
君が代・奉仕の理想 | 8. 各委員会報告 |
| 3. ビジター・ゲスト紹介 | 9. 内部卓話 |
| 4. 会長の時間 | 10. 次週例会案内 |
| 5. 幹事報告 | 11. 点 鐘 |
| 6. 出席報告 | |

本日の例会内容 ・米山BOX
 ・月初めのセレモニー（結婚記念日祝 3名）
 ・内部卓話（井上君・向山君） ・終了後理事会

2730地区ガバナー 伊藤 学而
中部分区ガバナー補佐 岩切 昇

2730地区テーマ

クラブを活性化し、地域と時代の要請に応えよう

高鍋ロータリークラブテーマ

品位のある楽しいクラブを実現し、社会の要求にこたえよう

1月の月間テーマ

ロータリー理解推進月間

次週の例会案内； 1月13日（木）1677回例会
 ・夜間例会＝四季亭 ・親年会（親睦活動担当）

第1675回 例会内容

■会長の時間 最終例会

会長 岡島達雄君

さる12月10日の赤い羽根街頭募金にご参加いただいた会員の皆様、お寒い中ほんとうにご苦労様までした。



本日はクラブ協議会の二日目であるとともに、今年最終例会でもあります。年度の振り返り点にあたりまして、理事・役員を始め会員諸氏のご協力とロータリーの友情に感謝申し上げます。

先週は、ノーベル賞授賞式が行われ日本からは鈴木章・根岸栄一両氏が「クロスカップリング反応の研究」で化学賞を受賞されました。これで日本からの受賞者は18人になりました。ノーベル賞は1901年から授賞されており最近では、化学のほか物理、生理学・医学、文学、平和、経済学の6分野で、副賞は日本円にして1件あたり約1億円です。「前年に、人類のために最大の貢献をした人に分配してほしい」というノーベルの遺言に基づいて設立されています。

一方日本にも、稲盛財団の提唱する京都賞があります。こちらは、先端材料部門、基礎科学と思想・芸術部門の3分野があり、副賞が5千万円です。

今年は「iPS細胞の研究推進」で山中伸弥氏が授賞されました。京都賞は、「人のため、世のために役立つことをなすことが、人間として最高の行為である」とい

う稲盛和夫氏の理念に基づいて1984年から授賞しております。思想・芸術部門では、2002年は、建築の安藤忠雄氏が受賞しています。音楽芸術でクセナキスが受賞した1997年には、授賞式と晩餐会に配偶者とともに招待され、華やかで高揚した気分を体験させていただきました。ノーベル賞のそれらを幾分か想像することができます。

ピアノ演奏で例会の雰囲気を作っていただく増田幸子さん、毎回お花をご提供いただく福岡直樹君、それから会の運営を助けていただく財津恵子さんにお礼を申し上げます。

会員の皆さん、楽しい良いお正月をお迎えください。

■幹事報告

幹事 武末喜久治君

*青少年交換プログラム学生

募集要項配布について

*1月のロータリーレート

1ドル=84円



◆出席報告

会 員 数	40名
出席会員数	32名
ホーム出席率	74.36%
前々回の修正出席率	89.47%

◆BOX披露<ニコニコ・財団・米山BOX>

岡島達雄君 赤い羽根募金活動参加できずに誠に申し訳ありませんでした。あと半期宜しくお願いします。
 茂木晃君 今年のご苦労様でした。来年も頑張りましょう。
 杉尾義秀君 結婚記念祝いのお礼として。

○広報・雑誌・IT委員会 委員長 日高 茂君
副委員長 関正夫君 委員 山口順一君

雑誌では、ロータリーの友など雑誌の記事紹介は概ね実行、高鍋高校・図書館などへの贈呈も進んでいます。IT関係では、例えば会員への周知は現状FAXですが、これからの伝達方法など委員会で検討したい。

広報では、その一つとしてホームページを週1回更新しています。これは皆さんとの話を文章化し・写真を含めて掲載できることであり、当クラブの委員会の中で、最も楽しい委員会の一つを仰せつかったと感謝しております。今後とも掲載記事の提供をよろしくお願ひします。

○プログラム委員会

委員長 岩切 洋君 副委員長 松尾正博君

前期をふり返りますと、年間プログラム予定に沿ってなんとか消化しましたが、当初外部卓話の選定に戸惑いました。しかし、岡島会長をはじめ外部卓話の候補者をあげて頂き随分と助かりました。内部卓話も会員の皆さんにお願いし、快く引き受けて頂きご協力ありがとうございました。後期も宜しくお願ひ致します。

○職業奉仕委員会 委員長 永田英徳君

副委員長 宮元武次君 委員 河野修君

本年度は横のつながり、クラブ内では各委員会が連携プレーをすること。高鍋RC以外のクラブへの積極的参加（メイクアップ）など。できたら理事会の承認を得ることで、ロータリーと地域社会の人々が参加してくれることによる、広報活動をするを目標としました。1998年からロータリアンの減少が著しいわが国の、減少の原因を探る目的で、

- ①ロータリーの本質が、ロータリアンにも地域社会にもよく理解されていない。
- ②ロータリー設立の当初の目的（専門職、企業人の倫理性を高めて、それにふさわしい成果をあげる）が少しずれて、倫理性に、重きを置きすぎたのではないか。すなわち、ロータリー設立時に返って企業家が職業上の利益、成果を上げるためにどうすべきかを考える。

この2つの目的をバランス良く表現してみることが大事ではないでしょうか。以上の事を具体的に以下のとおり実行致しました。

7月23日 情報委員会と他会員と合同 参加者 14名

- ・ロータリーの基本知識（情報委員会）
- ・ロータリーと職業奉仕（職業奉仕委員会）
- ・ロータリーに対する思い（全員）

10月21日（四季亭）ロータリー夜間大学

参加者 会員 28名 外部 17名

- ・会長あいさつ（岡島達雄会長）
- ・第2730地区情報委員長あいさつ（鳥山浩委員長）
- ・「ロータリー職業奉仕」（永田英徳職業奉仕委員長）
- ・「私が思うロータリー感と職業感」（黒木敏之君）

12月8日 佐土原ロータリークラブ（卓話 45分）

- ・「夜間大学とロータリーとは」のテーマで卓話

○社会奉仕委員会 委員長 石田喜克君

副委員長 河野浩二君 委員 松村悟郎君

上期は、恒例であれば高鍋警察署の署長さんが卓話をされていたが、目先を変えて社会奉仕を毎日されている。初鹿野聡氏をお迎えして9月9日の1662回例会で講演を実施した。初の企画であったが違った角度での奉仕活動が勉強でき大変参考になった。

10月14日の午前9時から、地域の他団体との交流を兼ねて、蚊口浜海浜公園でグランドゴルフ大会を開催した。第2回目でロータリー会員は8名、平成クラブからは、35名の参加で大いに盛り上がり地域の交流がスムーズに行えた。平山パスト会長のお骨折りに感謝します。

12月10日（金）の午後4時から歳末助け合い共同募金の街頭活動を実施。本年度はながの屋とジョイアスの2箇所を実施。

○国際奉仕委員会

委員長 桑野倫夫君 副委員長 柴垣復生君

最初の国際奉仕の仕事は10月にGSE受け入れの協力でした。今回は6名のGSEのメンバーがドイツからこられ、鹿児島から宮崎に19日の日にやってこられました。初日に石河内のそば道場にて西都クラブと合同にて昼食をとり黒木会員に無理にお願いして、石河内の工場見学をして、その後、またまた黒木会員のお母さんをお願いして、高鍋の舞鶴公園内の萬歳亭にてGSEにお茶のおもてなしと茶道の体験をされましたが、皆さん少し疲れ気味のようでした。初めての体験に興味心身でした。

11月には、高鍋クラブとの姉妹クラブの米沢上杉RCから12名来られました。高鍋クラブの例会にも参加され、その後の懇親会では、大いに盛り上がり楽しいひと時を過ごされたのではないのでしょうか。3日間と短い時間ではありましたが、ゴルフを楽しまれた方、観光を満喫された方、皆さん喜んでお帰りいただいたのではないのでしょうか。私は、最後の日に南郷の方へ車の運転手としてお付き合いをさせていただきました。宮崎空港まで送り、米沢上杉RCの皆さん方を見送りの際に、古山会長さんが本当にロータリーの友情は最高です。その一言が印象に残った米沢上杉RCの訪問でした。

ご協力下さいました会員の皆様有難うございました。

○新世代委員会

委員長 河原好秋君 副委員長 日高 茂君

9月の新世代月間で、元高鍋高校ラグビー監督、黒岩正春先生に卓話をお願いしました。

11月には第4回高鍋ロータリーカップミニラグビー大会への協力。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1、真実かどうか
- 2、みんなに公平か
- 3、好意と友情を深めるか
- 4、みんなのためになるかどうか